



2020年度 愛知県公立高校入試問題

Bグループ 分析コメント

| 教科 | コメント |
|----|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 国語 | <p>【難易度】(2019年度との比較) やや易化 (Aとの比較) やや易化</p> <ul style="list-style-type: none">・現代文も古文も、2019年度のBグループ、2020年度のAグループのいずれと比較しても、文章の内容は理解しやすく、設問も解答しやすいものが多かった。・文章量は全体で約4850字になり、2019年度のBグループ(約5300字)、2020年度のAグループ(約5300字)よりも少なくなった。・2019年度のBグループで復活した文学的文章(小説)は、2020年度はA・Bいずれのグループでも出題されなかった。・生徒の感想文に抜けた文を補う問題、ことわざの空欄を補充する問題が新たに出題された。 |
| 数学 | <p>【難易度】(2019年度との比較) 難化 (Aとの比較) 難化</p> <ul style="list-style-type: none">・2019年度のBグループと比較して、図形分野の問題の難易度には変化がなかった。一方で大設問2において、確率、自然数、一次関数を題材とした各設問で、条件を正確に読み取って判断することなど、負荷が大きい問題が出題されており、全体としては難化した。・今年度のAグループと比較しても2019年度と比較した場合と同様で、大設問2における負荷が大きい点から、全体としては難化した。 |
| 社会 | <p>【難易度】(2019年度との比較) やや難化 (Aとの比較) やや難化</p> <ul style="list-style-type: none">・3分野ともに資料や文章の読み取りにおいて、複数の資料等を組み合わせて深く思考しないと正答にたどりつけない出題が複数あった。・Aグループでは完答問題が5問あったが、Bグループでは2問であった。・Aグループでは論述問題の代わりに文章中からの抜き出し問題が出題されたが、Bグループの論述問題では、2つの語句が指定され、語句の使う順も指定された。 |
| 理科 | <p>【難易度】(2019年度との比較) 易化 (Aとの比較) やや易化</p> <ul style="list-style-type: none">・2019年度同様、記述・作図の出題はなく、グラフをかく問題が1問出題された。・完答形式の問題も2019年度同様出題されたが、2019年度は3つ解答して正解であったのに対し、2020年度は2つ解答して正解となる問題であった。・2019年度同様、会話形式の文章がA・Bともに出題され、今後この形式が定着すると予想される。 |
| 英語 | <p>【難易度】(2019年度との比較) やや易化 (Aとの比較) やや易化</p> <ul style="list-style-type: none">・筆記検査-大設問1の条件英作文は、Aグループと同様にグラフを参考にして、5語以上で自分の考えを述べる形式であった。・筆記検査-大設問2の対話完成は、内容が読み取り易く、解答し易かった。・Aグループと同様に、筆記検査-大設問3の長文読解(5)[内容把握を問う問題]は、答えが1つとは限らないものであった。・教科書の表現を確実に理解することにより、解答できる問題が多く見られた。 |